

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年7月11日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103060
法人名	医療法人 仁愛会
事業所名	グループホーム 笑憩の里
所在地	鹿児島市吉野町 5221番地1 (電話) 099-295-8655
自己評価作成日	平成26年 4月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年5月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 入居者個人に合わせた生活スタイルに基づいて、食事・排泄・入浴・睡眠・移動・協働作業等を入居者・ご家族・職員の意見を取り入れ安全・安心して頂けるケアに努めている。
- 気候や天気の良い日は、園庭で日光浴や散歩を行なったり、生活歴を活かし農園や庭での作業など一緒に行い精神面の安定が図れるようにしている。
- 入所前のご本人やご家族との関わりや情報を得ることで、入所後の寄り添うケアを目指している。
- かかりつけ医の定期往診や専門医(皮膚科・歯科)と連携し、利用者の健康管理健康維持の相談や助言を頂いている。
- 災害時に備えて、毎月防災避難訓練を実施している。
- 地域代表等に、運営推進会議や敬老会、家族の集いに出席していただいたり、地域行事(運動会・駅伝)の応援や見学を入居者と職員は一緒に行っている。
- 職員は日々、ご利用者一人ひとりの存在を意識し、より良い環境をつくる事に努力している。
- 広い庭があり、職員はご利用者と(春は桜・秋は柿など)楽しみながら散歩したり、畑(芋やジャガイモ植え・収穫等)の作業を一緒に出来る環境がある。
- 代表者は、管理者や職員の意見を尊重し、働きやすい環境づくりに努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設12年目を迎えるホームは、居室の窓からは桜島を眺めることができ、広い敷地には桜の木や実のなる木々が植えられ、四季を感じ取れる自然豊かな環境に位置している。災害対策は万全で、消防署指導の年2回の定期訓練の他に、毎月、ホーム独自の「笑憩防災の日」を設け、夜間想定を含めた避難訓練を行っており、近隣住民の協力を得られる体制が出来ている。母体の医療法人との緊密な医療連携も合わせて、家族の安心に繋がっている。「いっしょに 楽しくゆっくりと」の理念を基本に、年度毎の目標計画を掲げている。職員のアイデアから生まれた個別対応ポイント・よかったノートなどの情報ツールは利用者の詳細な現状が一目で分かり、職員間での共有情報として大きな役目を果たすと共に、変化する介護技術や認知症を含めた充実した研修を行う事で、サービスの質の向上に生かされている。地域行事である運動会や駅伝の応援参加など折にふれ、利用者が地域の一員として参加できる機会を多く持てるように支援すると共に、家族の協力を得ながら、外食やドライブなどに出掛け、施設に閉じこもらない、メリハリのある生活が出来るように努力をしている。開設当所より町内会長との懇意な関係を通して、ホームの年中行事の発信や協働の呼び掛けが出来ており、ホームの敬老会や園庭での花見など近隣住民の参加を得ている。管理者は、地域に向け、認知症の講座を開催するなどし、認知症への理解や知識を深めてもらえるように働きかけもできている。今後は児童クラブの子供達との交流も計画していく予定であり和気あいあいとした、我が家を感じさせる温かいホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> 法人やホームの記念理念に沿って入居者様と「いっしょに楽しくゆったりと」過ごせるように心がけている。 	基本理念を基に、年度ごとに目標計画を立て、変化する介護技術の研修や認知症に関する知識や理解を深める事で、ホームが目指すサービスの提供に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事や運動会に参加したり、駅伝大会、マラソン大会は、町民の一員として応援させていただいている。 	地域行事への応援参加や、ホームの敬老会・園庭での花見などに地域住民の参加がある。年末に芋餅を作り近隣に挨拶に回るのが恒例になっており、町内会長をパイプに地域との協働の関係が出来ている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	<ul style="list-style-type: none"> 年末には、入居者様と職員の協働で芋もちを作り、地域の方やお世話になっている方々に感謝の気持ちを表している 		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> 町内会長、民生委員、利用者、ご家族、長寿あんしん相談センター職員に参加して頂き、活動報告、意見や提案を伺い運営に反映している。 	町内会長・民生委員・家族・行政を含めた参加を得ており、家族の集いに合わせ開催することもある。感染症やヒヤリ・ハットの検討会など、テーマはその都度設け、外部からの気付きや意見を貰うことでサービスの反映に繋げている。	

笑みの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市の相談員を受け入れ、職員以外の方から見た入居者様の思いやご意見を頂き、職員会議等で報告情報を共有し日々のケアに生かしている。 	<p>感染症に関しての相談や研修案内を貰うなど、必要に応じて担当窓口との連携は密にとれており、双方で情報交換や協働の関係が出来ている。市の介護相談員の受け入れもありサービスの向上に生かしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束をしないことを基本にカンファレンスを行い、意識して身体拘束に繋がらない工夫をしている。 玄関には施錠をせず、ブザーや見守りにて拘束をしないようにしている。 	<p>日中は玄関の施錠はせずに、外出傾向の利用者には名札をつけて、職員間での目配りを重視することでさり気なく接し、抑制のない生活を支援している。起き上がりの察知に居室にはセンサーを設置し危険防止に努めている。職員は研修を通して、身体拘束に関しての理解を深め、余裕を持ったケアができるように努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 入浴や排泄介助時に皮膚観察を行ったり、言葉での虐待はないか話し合いや職員同士で気をつけるようにしている 職員は、心にゆとりを持ってケアができるように心がけている。 		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> 研修等に参加して制度など学んだ事を研修報告書や勉強会で理解する機会を作っている 		

笑みの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> 入所時十分な説明を行い、了承を得て契約を締結している 改定や変更があった場合は、直ちにご家族に十分な説明を行い、理解・納得して頂き了承をもらっている。 		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> 2か月に1度運営推進会議を開き入居者様やご家族の意見を聞く場を設けている。議事録はご家族・関係機関に送付している。 笑憩だよりを毎月発刊している。 玄関に意見箱を設置している 	年1回家族会を開いており、出席率も高い。要望や意見の出しづらい家族の立場に配慮し、アンケートや家族主体での意見交換会などの機会を設けるなどしたこともあり、ホームとして意見や要望の出し易い様々な工夫をしている。出された意見や要望は、職員会議で話し合い、速やかに改善策へ繋げている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> 月1回職員会議を開催し意見や提案を出し合い、運営に反映している。 	日常的に利用者と関わりの深い職員のアイデアから生まれた「個別対応ポイント・よかったノート」は利用者の現状情報が満載であり、職員間での重要な情報ツールになっている。介護計画にも多に活かされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 管理者は勤務状況を把握し職場の環境作りに努めている。 毎月半ばに翌月の希望休を取り入れながら勤務表を作成している。 		

笑みの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・月1回、職員会議や勉強会を開き内部研鑽が行われている。</p> <p>・外部研修に参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・2か月1回開かれる地域の会（よかど会）に参加して、勉強や情報交換をして質の向上に努めている。</p>		

笑みの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・入所前に訪問やご本人に見学をして頂き、困っていることや要望等に耳を傾けるようにしている。 ・安心して生活が送れるように信頼関係づくりに努めている 		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・入所前にご家族が望んでいる生活に対する意向や不安な事に耳を傾けるようにしている ・入所後もご家族との信頼関係が築けるよう誠意のある対応を行っている。 		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・困っていることや支援してほしい事を対話の中で把握し、その時点で最善のサービスを提供できるように努める。 ・関係機関との連携や情報収集を行っている。 		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様を生活を共にする家族という思いで、尊厳を持って接している。 ・家族の一員という思いから役割を持っていきいきと生活できるようにしている。 		

笑みの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ご本人に対するご家族の思いを大切にしている。 電話支援の他、毎月の笑憩だよりで生活状況等をお伝えして関係が途絶えることが無いようにしている。 		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 入所前のアセスメントで情報を得るようにしている。大切にされてきた馴染みの友人や近所の方が来訪される。 日々の会話の中に名前を入れて話をするようにしている。 	年に何回か幼馴染や友人が遊びに来る利用者もいる。家族の面会は頻繁であり、家族旅行に行く利用者や、知人へ手紙を書いたり、行きつけの美容室や自宅に帰るなどこれまで築いてきた馴染みの人や場所との関係継続の維持に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 会話ができる利用者を同じテーブルになるように配慮している。 発語が困難な利用者に対しては思いが伝えられるまで待つゆとりを持って接している。 孤立、疎外感が無いように心がけている。 		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 病院に入院などされた時は、職員が見舞いに行ったり、ご家族へ電話で様子を伺ったりしている。 悩みがあったら、相談や支援に努めている。 		

笑みの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・利用者やご家族の望む暮らしや意向を聴きとりや日常会話で把握するように努めている	24時間の生活変化を記録した「24時間シート」を活用し、利用者の所作や言葉に耳を傾けることで、その人なりの意思表示や思いの汲みとりに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・利用者さんやご家族の連携を取り、入居者様のご家族の意向を取り入れ支援するように努めている。。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・個々の意向や心身状態に合わせて1日の過ごし方について情報収集に努めている。 ・リハビリ体操、踊り等を取り入れている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・入所1週間、1ヶ月と気づきがあった場合は早急に行っている。その後は、3カ月毎にモニタリングを行っている。 ・モニタリングはご本人・ご家族・職員から意見や改善案などを反映し、より良い暮らしが提供できるように介護計画を6ヶ月ごとに作成している。	介護記録や個別対応ポイントなどの詳細な情報を基に、職員間で意見や改善案を話し合い、本人や家族の意向を踏まえた利用者本位の介護計画になっている。月1回の定期検診時に主治医への相談もできる体制で、利用者の心身の状況変化に応じて現状に即した計画書である。	

笑みの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・H25. 11. 1より介護記録の様式を見直し、入居者様の日常の様子がより把握できるようになった。 ・個別記録や介護記録にて職員間で情報を共有でき、日常の介護や介護計画作成に活かしている。 		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、ご家族に笑憩だよりやメッセージカードを送り入居者様の様子をお伝えしている ・在宅から利用しているサービスで入所後も引き続き利用したい場合は、意向を取り入れるように支援している。 		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を通して入居者様の様子をお知らせしたり、行事の際にはボランティアの要請を行ったりしている。 ・地域の行事に参加して地域に密着していることを実感して頂くように支援している。 		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・申し込み時にかかりつけ医の希望を確認している。 ・今までのかかりつけ医と入居者様の関係を継続もしくは新たなかかりつけ医との関係が築けるように支援している。 	<p>希望に応じて、入居前からの掛りつけ医の受診を継続しており、主治医への情報提供や指示を仰いでいる。受診状況は家族へ連絡し、共有を図っており利用者の適切な健康管理が行われている。</p>	

笑みの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回定期往診時には、情報提供にて医療との連携を図っている。 ・隣の棟に看護師が2名いるので、相談をしている。 ・急変等が起きた時には、faxと口頭で連絡、状態報告、相談し指示を受けている。 		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時に情報提供を行い、医療との連携を図っている。入院生活が送れるように病院関係者との関係づくりを図っている。 		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入院後3週間目でサービス担当者会議を開き、今後の方向性について話し合っている。 ・契約時、終末期に対してご家族と確認を取っている。 	<p>重度化や終末期に於けるホームの指針を明文化しており、契約時に納得が得られるように本人や家族に説明をし、確認書で同意を得ている。家族の心境の変化に伴いその都度、今後の方向性についての話し合いの場を設け、不安が無いように対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会を年に数回行っている ・救急要請の場合は「緊急時の利用者情報」のファイルが棚に保管しており、職員は慌てないで初期対応ができるように備えている。 		

笑みの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防火・防災マニュアルがある。 ・月1回笑憩防災の日を設け、避難訓練を行っている。 ・地域の協力体制も出来ている ・年2回消防隊の指導を受け、通報訓練初期消火などを実施している。 	<p>災害時にすぐに対応できるように、ネームの裏に災害の手順を載せている。消防署立会いの定期消防訓練の他、事業所独自に毎月、「防災の日」を設けており、夜間を含めた災害訓練を実施している。地域の窓口として、町内会長の協力を得ており、災害時には地域住民に利用者の見守りを中心とした協力体制をお願いしている。</p>	

笑みの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の生活歴の理解に努め利用者の思いに耳を傾け言葉使いに気をつけながら対応している。 	<p>トイレ誘導時等、羞恥心には特に配慮し難聴の方への対応は耳元で声掛けしている。ゆっくりと利用者のペースに合わせて傾聴を重視している。名前は入所時に家族の同意を得て、呼ばれて嬉しく感じる呼び名で対応しており、利用者の人格や誇りを大切にされたケアに努めている。</p>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> 本人の希望があれば、いつでも電話支援をしている。（不穏状態等柔軟に対応） 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの思いを傾聴し本人のペースに合わせて、希望にそうよう対応している。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> 本人の意向を聞き調整しながら支援している。 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の好物などを聞いて要望があれば、誕生日などに工夫している。また調理協働や、食器の片付けを一緒にしている。 	<p>重度化に伴い、利用者とは過ごす時間を重視し、現在、配食サービスへ切り替えており、手間をかけた豊富なメニューになっている。お茶の飲みにくい利用者にはお茶ゼリーで対応し、水分補給への工夫をしている。ミキサー食や刻み食など利用者の嚥下や咀嚼に配慮した食事形態で支援しており、利用者にとって、食が楽しみな時間になっている。</p>	

笑みの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 水分量の不足している方にお茶ゼリーや甘味を入れ補給している。 飲み込みの困難な方には、刻みやトロミを使って支援している。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> 食後は声掛けをし、ご自分で出来る方はして頂き、磨き直しを支援している。 舌ブラシを使用する事もあります。 		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 個人の時間に合わせトイレ誘導を行っている 失敗回数を減らす為に、自立に向けて、訴えや行動に気づくようにしている。 	個々のタイミングに合わせて、適時のトイレ誘導をしており、日中は布パンツで過ごす利用者も多くいる。表情や表現からサインを素早く察知し、トイレ誘導をすることで排泄の自立に向けた支援に力を入れている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操やリハビリ体操で身体を動かしていただく。 毎日の排便状態を把握し水分補給やカスピ海ヨーグルトを飲んで頂いています。 医師の指導で緩下剤の調整を行っている。 		

笑みの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	<ul style="list-style-type: none"> その日の体調やタイミングをみて、週2回は入浴できるよう支援している。 	基本は週2回の実施である。入浴を強くためらう利用者には、気分をそらす工夫や接し方で、タイミングを見計らって心地よく入浴してもらっている。体調に応じて足浴や清拭に切り替えて、清潔の保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> 日中は、体操・レクリエーションを出来るよう支援している 足のむくみやすい方には午睡をして頂く。 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 薬のセット後は、必ず他の日勤者と夜勤者に確認してもらう。(ダブルチェック) 朝昼夜寝る前の与薬時は、名前、日付けの確認、飲み込み確認をしている。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 誕生日は弁当もしくは、利用者様の好みのメニューを取り入れて献立を作っている。 ひな祭りや敬老の日など行事に合わせて合同レクを行っている。 		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 買い物やドライブの要望に応えられるよう担当の職員は入居者様と計画を立てている。 誕生日に合わせてご家族と一緒に外出をされている。 四季折々に花見に出かけている。 	近隣の散歩を日課としている利用者は排便がスムーズになっている。家族の協力をもらい、四季折々の花見に出かけたり、家族と合流した初詣は、お正月の恒例となっている。介護タクシーを利用して買い物に行く利用者もおり、積極的に外出の機会を多く持てるようにしている。	

笑みの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の金銭出納帳があり好きなお菓子や必要な物を購入している。 ・外泊や外出される時は、おこずかいを所持し自由に使えるように支援している。 		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙やハガキを子供や孫、親籍に送る時には、宛名書きや投函、切手購入などの支援を行っている。 ・本人の希望時に電話の取次ぎ支援を行っている。 		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節感のある物や生活感のあるものを飾っている。 ・居心地のよい空間を作るための動線場には物を置かない。 ・季節によって空気の入替え等に心がけている。 	<p>大型のソファでくつろいだり、車椅子の利用者には畳みの利用で安全への配慮がなされている。利用者の作品や行事の写真などが飾られ、ゆったりとして穏やかな生活を感じ取れる共用空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人座っていただく場所を本人や職員と一緒に相談して決めている。 		

笑みの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仏壇や使い慣れた家具や寝具を使って頂いたり、家族の写真などを飾ったりしている。 	<p>調度品や仏壇など、利用者にとって思い入れの深い品々を持ち込み、趣味に合わせて、キーボードの演奏を楽しめる工夫がなされるなど、個別性を大事に安心して暮らせる空間になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手摺で安全に移動できるようにしているが、ふらつきのある方には、手引き歩行支援している。 	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない